<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	循環型社会推進課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	快適な環境保全プログラム
施策名	【重点】海ごみ対策の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	海ごみ削減キャンペーン等によるごみの回収量	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	120	120	120	120
現況値	92t/年	実績値	112			
目標値	120t/年	達成率（%）	93.3			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・おかやまの美しい海、海ごみクリーンアップ事業
・プラスチック3R推進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

海ごみ削減キャンペーン「おかやまゴミ退治大作戦」を実施し、県内各地での海ごみ対策事業の実施を呼び掛けた。また、海ごみ・プラごみ削減フォーラムを開催し、県内外における海ごみ削減に係る取組等を紹介することで、海ごみの回収・発生抑制に向けた意識の醸成を図った。加えて、回収活動が自発的・継続的に行われるよう、公民館を中心に地域と連携した回収活動の体制づくりに取り組んだほか、清掃ボランティアが活性化するよう、市町村と連携し、回収後の河川ごみ等の運搬・処分を支援した。
瀬戸内4県と日本財団との連携プロジェクトである「瀬戸内オーシャンズX」においても、多様な主体と連携し、海ごみ対策に取り組んでいる。

6 今後の施策推進に向けての課題

海ごみの発生抑制については、海に流入する前に身近な河川等で回収することが有効であるため、県民一人ひとりのごみ回収活動を推進したり、海ごみ対策に対する熱意と識見を有する人材を育成・認定するなどして、県内全域において多様な主体による海ごみ対策を推進する必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	治山課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	快適な環境保全プログラム
施策名	【重点】花粉の飛散の低減に向けた取組の加速

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えの面積	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	170	360	570	800
現況値	137ha/年	実績値	193			
目標値	800ha	達成率（%）	113.5			
備考	目標値は2025～2028年度の累計	達成度	4			

3 関連する事業名

・コンテナ苗で広げる花粉レスの森づくり事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

コンテナ苗で広げる花粉レスの森づくり事業（県単独事業）等の実施により、少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えが促進され、2025年度の植替え面積は193haとなり、目標の170haを上回る植替えが実施された。

6 今後の施策推進に向けての課題

採種園の新規造成や種子採種工程の効率化により少花粉種子の増産を図るとともに、コンテナ苗の新規生産者等を対象とした資機材導入支援及び技術指導等により、少花粉苗木の増産及び安定供給に取り組む。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	都市計画課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	快適な環境保全プログラム
施策名	【重点】生活排水対策の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	汚水処理人口普及率	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	91.5	92.2	92.6	93.1
現況値	89.0%	実績値	90.1			
目標値	93.1%	達成率（%）	98.5			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・浄化槽設置促進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図るため、クリーンライフ100構想に基づく汚水処理施設の整備を推進した結果、汚水処理人口普及率は前年度から0.6ポイント上昇し、着実な向上が図られた。

6 今後の施策推進に向けての課題

人口減少等の社会情勢を踏まえ、汚水処理人口普及率を向上させるためには、集合処理と個別処理の分担率の見直しによる汚水処理施設の最適化を図る必要があることから、全体計画や事業計画の改定等の機会を捉えて、積極的に検討するよう市町村に助言を行う。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	農産課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	快適な環境保全プログラム
施策名	【重点】みどりの食料システム戦略の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	国際水準以上の有機農業の取組面積	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	200	216	232	250
現況値	176ha	実績値	207			
目標値	250ha	達成率（%）	103.5			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・おかやま型みどりの食料システム戦略実践事業
・おかやま型みどりの食料システム戦略推進事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

市町村と共同で策定した「県みどりの食料システム戦略基本計画」、「岡山県有機農業推進計画」に基づき、おかやま型みどりの食料システム戦略推進事業等を活用した有機農業の生産拡大や販路拡大を推進した結果、有機農業取組面積は拡大した。
また、畜産業においては、資源リサイクルを推進する面から、耕種農家等に県内畜産農家の堆肥生産情報を提供し、資源の有効利用を進めた。

6 今後の施策推進に向けての課題

化学肥料・農薬の低減に取り組む潜在的な農業者は存在するため、継続して市町村等と連携して関連する制度の周知や生産・販路拡大の取組などにより、有機農業をはじめとした環境保全型農業の取組拡大を進めていく。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	港湾課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	快適な環境保全プログラム
施策名	【重点】秩序ある水辺空間の創出

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	放置艇の隻数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	2,635	1,699	1,417	1,136
現況値	5,812隻	実績値	2,532			
目標値	1,136隻	達成率（%）	104.1			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・水辺空間の適正利用促進事業
・放置艇重点指導事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

水域等を放置等禁止区域に指定し、船舶所有者への周知と正規の係留許可手続きを推進した。あわせて、行政指導の効率化を図るため「小型船舶総合管理システム」を導入し、放置艇情報の適正な管理体制を構築した。

6 今後の施策推進に向けての課題

所有者不明のため、行政指導を行うことができない放置艇に対する所有者調査を継続するとともに、行政指導に従わない所有者に対しては、撤去命令や取締要請、告発などの厳格な検討をする必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	環境管理課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	快適な環境保全プログラム
施策名	【推進】水、大気、土壌などの保全対策の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	工場・事業場の排水・排ガス基準適合率（水質）	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	97.1	97.4	97.7	98.0
現況値	96.5%	実績値	96.6			
目標値	98.0%	達成率（%）	99.5			
備考		達成度	3			

指標名	工場・事業場の排水・排ガス基準適合率（大気）	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0
現況値	100.0%	実績値	100.0			
目標値	100.0%	達成率（%）	100.0			
備考		達成度	5			

3 関連する事業名

・児島湖の水質改善の促進
・晴れの国ブルースカイ事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

公共用水域の環境基準達成率は、河川（BOD）96.8%、海域（COD）で40%であった。児島湖（COD）については、近年横ばい傾向で推移しており、依然として環境基準の達成には至らなかった。
環境大気の環境基準達成率は光化学オキシダント以外の全ての物質で100%であったが、光化学オキシダントについては、依然として0%であった。

6 今後の施策推進に向けての課題

工場・事業場に対しては、水質汚濁防止法や大気汚染防止法などの関係法令に基づく立入検査等により、排出基準等の遵守徹底を図る。
児島湖対策については、下水道整備などの生活排水対策や啓発事業に加え、L字型肥料への転換促進による農地からの汚濁負荷量の削減、生物による水質浄化、環境用水導水等の取組を推進する。
微小粒子状物質対策については、工場・事業場の固定発生源対策などを講じるほか、原因となる稲わらの野焼きを低減させるための取組を推進する。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	循環型社会推進課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	快適な環境保全プログラム
施策名	【推進】循環型社会形成等の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	一般廃棄物の排出抑制・資源化率	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	96.8	96.8	96.9	97.0
現況値	96.7%	実績値	97.0			
目標値	97.0%	達成率(%)	100.2			
備考		達成度	4			

指標名	産業廃棄物の排出抑制・資源化率	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	96.2	96.5	96.7	97.0
現況値	95.9%	実績値	96.1			
目標値	97.0%	達成率(%)	99.9			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・食品ロス削減促進事業
・プラスチック3R推進事業

4 施策達成レベル

3.5	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

事業系食品ロス削減の一助として、食品関連事業者とフードバンクをつなぐマッチングサービス「おかやまフードトリップ」を運用し、利用促進に向け周知を図った。また、食品ロス削減月間キャンペーンや、大学生による小学生向け出前授業の実施等により、食品ロス削減意識の醸成を図るとともに実践を促した。

ファジアーノ岡山と連携し、試合観戦に訪れた多様な世代の多くの県民に対してプラスチックの削減等を促すキャンペーンを実施し、プラスチック3Rの意識醸成を図るとともに、プラスチック3Rを宣言して具体的な取組を実践する事業者を登録する制度により主体的な取組を促した。（2025年度末時点の登録事業者数：1,703事業所）

6 今後の施策推進に向けての課題

食品ロス削減意識の醸成とともに、具体的な行動を促し、習慣化につなげる必要がある。
プラスチック3Rの啓発等については、海洋プラスチックごみ問題の観点から、海ごみ対策事業と連携しながら効率的に取り組む必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	自然環境課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	快適な環境保全プログラム
施策名	【推進】暮らしを支える豊かな自然環境や優れた景観の保全

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	身近な自然体験プログラムの参加者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	29,223	29,516	29,808	30,100
現況値	38,873人/年	実績値	55,439			
目標値	30,100人/年	達成率（%）	189.7			
備考		達成度	5			

3 関連する事業名

・みどりふれあい事業
・自然保護センターの運営管理

4 施策達成レベル

5.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

緑化活動を実施しているみどりの少年隊をはじめとする児童・生徒らが一堂に会し、植樹作業や野外体験活動などを通じて交流し、緑の重要性や必要性を学ぶ機会を設けたり、自然保護センターにおいては、自然観察会や自然体験などの様々なイベントや企画展示を行い、自然を保全し、活用する取り組みを進めることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

みどりの少年隊について会員数の維持・増加や活動の促進を図り、また、自然保護センターについて誰もがより利用しやすい環境を維持するとともに、自然保護センターの魅力を周知し、利用者増加のための取組を強化することにより、自然にふれあい親しめる機会を増やし、県民の自然への理解を深め、保全に対する意識を高めていく必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

		担当部課室	林政課
重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	快適な環境保全プログラム		
施策名	【推進】快適な森林環境の創出と県民参加による森づくりの推進		

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	森づくり活動への参加企業数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	31	32	33	34
現況値	29社	実績値	32			
目標値	34社	達成率（%）	150.0			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	5			

3 関連する事業名

・快適森林環境創出事業
・企業との協働の森づくり事業

4 施策達成レベル

5.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

企業のニーズを把握し、活動対象森林が所在する市町村とのマッチングを図ることにより、企業と市町村との間で森林保全に係る利用協定が締結された。

6 今後の施策推進に向けての課題

企業がSDGsに取り組む一環として、森林保全活動に関心を有するケースが増えており、その多くがいわゆる植樹活動を要望しているが、植樹可能な活動対象森林が限られており、マッチングに苦慮するケースが多い。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

		担当部課室	建築指導課
重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	快適な環境保全プログラム		
施策名	【推進】空き家の適正管理、利活用の推進		

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	空家等活用促進区域指定済市町村数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	1	2	3	4
現況値	0市町村	実績値	1			
目標値	4市町村	達成率（%）	100.0			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・おかやま空き家対策推進事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

経済的社会的活動の拠点となるような区域の空き家の活用を重点的に促進するため、1市が空家等活用促進区域を設定した。

6 今後の施策推進に向けての課題

地域の課題に応じた空き家対策を進めるため、引き続き市町村に対して設定を促す必要がある。